

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート										No.	34-1
PDCA	主要事業名		山車ガイドブック作成事業		部課名		教育部博物館		担当		鳥居
										内線	23-7173
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 1 - 2 - 2 単位施策： 文化の振興と継承										
	全体事業期間： 令和 4 年度 ～ 4 年度 全体事業費等： 2,540 千円										
	会計		一般会計				歳出科目： 09.05.01.04.52				
	事業概要等		事業概要： 本市の誇る貴重な文化財である山車について広く市内外へ紹介するため、「はんだ山車まつり」にあわせて山車のガイドブックを作成する。 令和4年度までの時限事業であり、令和4年度はコロナで一部未実施のガイドブック掲載用山車写真の撮影と印刷、製本を行う。								
			事業目的： 山車ガイドブックを作成し、精緻な彫刻、絢爛豪華な刺繍幕等を紹介することで、半田に花開いた歴史や文化を広くPRする。								
			事業内容： コロナで一部未実施のガイドブック掲載用山車写真撮影及び掲載内容やデザインについての調整、印刷製本を行う。								
			問題点・課題等： 本市には、数や装飾において全国に誇れる山車がありますが、知名度は未だ十分とは言えない状況にあり、山車文化を広めるための更なる発信が必要である。								
	予算額		主要事業とする理由								
	2,540 千円		半田の誇る山車文化を伝承していくためには、山車ガイドブックを作成し、半田の山車の文化的価値と素晴らしさを定期的に発信していく必要がある。								
	財源内訳		得られる成果								
	市費		山車文化の発信を強化することで、多くの人に山車の文化的価値を知ってもらうことや、愛着をもってもらうことができ、保存継承の必要性を伝えることができる。								
	2,540 千円		目標値や目指すべき状態								
	国費		令和2年度 令和3年度 令和4年度 単位								
	0 千円		写真撮影台数 実績値 9 22 輛								
県費		目標値 9 22 輛									
0 千円		半田の山車文化を紹介するに相応しい掲載内容 実績値 22 22 輛									
その他		目標値 22 22 輛									
0 千円											
D 実績得られた成果と	決算額		得られた成果								
	2,397 千円		本市の誇る貴重な文化財である山車について広く市内外へ紹介するため、「はんだ山車まつり」にあわせて山車のガイドブックを作成した。								
			成果指標							令和4年度	単位
			写真撮影台数 実績値 22 22 輛								
			目標値 22 22 輛								
C 課題の整理	事業の評価・課題		B								
			精緻な彫刻、絢爛豪華な刺繍幕等も紹介することで、山車そのものだけでなく歴史や文化を広くPRできるガイドブックが作成できた。								
A 課題今後の決方向性	今後の事業の方向性		拡充推進								
			次回は第10回はんだ山車まつりに合わせたガイドブックの作成となるため、サイズの拡大、ページ数を増やすなどし、第10回を記念するガイドブックを作成する必要がある。								
	観点別評価		必要性		有効性				効率性		
			①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減 余地	ない					
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ない	⑧受益者負担適正化余地				ある			
		③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない								

目標項目（予算計上時に作成）

予算見積書で活用

評価項目（決算時に作成）

主要施策の成果報告書で活用